

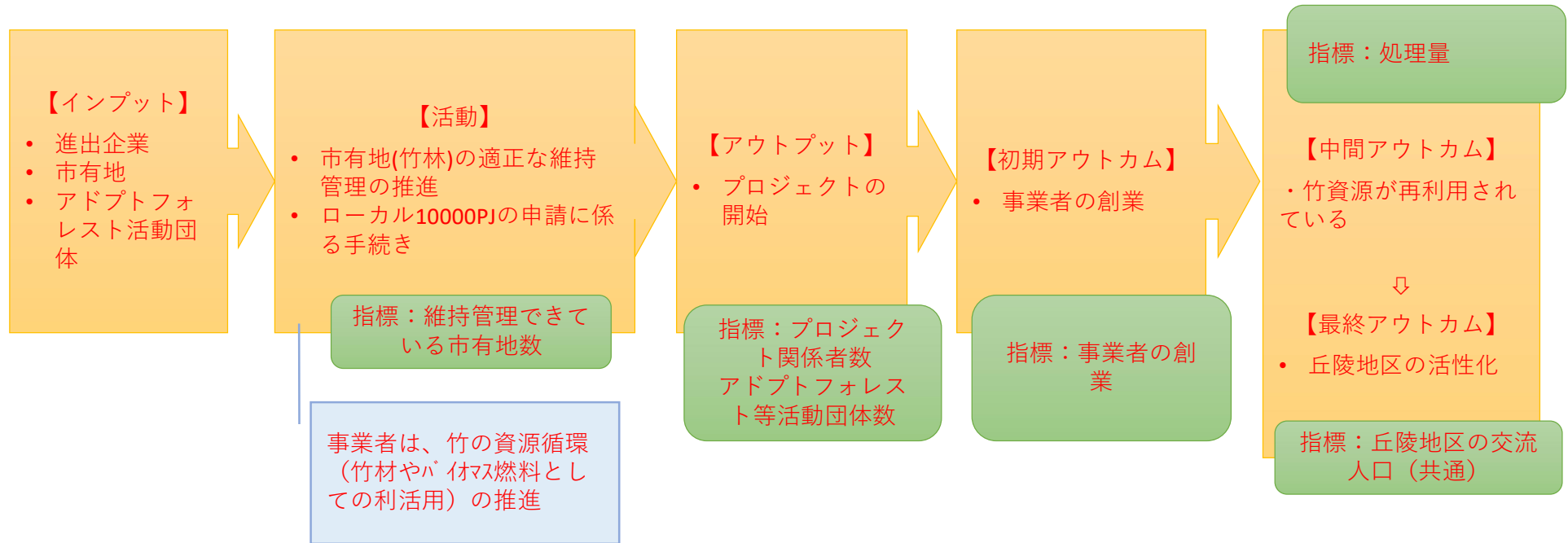
# 【R7年度】重点目標の取組・概要（ゆめみヶ丘岸和田の自然環境を活かした整備推進[丘陵地区整備事業]）

担当課（内線）	都市整備課（3126）	重点目標の方向性	泉州山手線沿道を中心とした拠点形成とアクセシビリティの向上
重点目標	経済・交流が活発な岸和田の実現	行政の役割	地域の活性化につながる新たな拠点の整備を進める

現状と課題	課題に対する取組の内容（めざす成果・期間・対象者・手法など）
<p>・丘陵地区の地域資源である一方、適正な管理が求められる地域課題にもなる「竹」を有効活用した広域連携、環境対策を進めることが必要である。</p> <p>また、丘陵地区においては地区計画等において、個人や企業に対し緑地保全等を促していることもあり、公共施設においても積極的な保全管理をする必要がある。</p>	<p>【中期的(4～5年後)にめざす成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・竹を中心に広域的な連携をする等、竹を活かしたまちづくりを推進し、環境にも優しく、ゆめみヶ丘岸和田の魅力が向上している状態をめざす。</li> </ul> <p>【成果に向けての各年度の進め方】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・竹の資源循環や市有竹林の適正な維持管理を行い、パンダバンブー地域循環共生圏プロジェクトを推進する。</li> </ul> <p>【R7年度の取組内容（期間・対象者・手法など）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・R7 パンダバンブー地域循環共生圏プロジェクトの推進             <ul style="list-style-type: none"> <li>・プロジェクト関係者との連携及び事業推進</li> <li>・ゆめみヶ丘岸和田まちづくり協議会の事業との連携</li> </ul> </li> </ul> <p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・竹の資源循環（竹材やバイオマス燃料としての利活用）</li> <li>・市有地(竹林を含む)の適正な維持管理の推進</li> </ul> <p>【行政の役割】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ローカル10000PJの申請に係る手続き（岸和田市経由）</li> <li>・事業予定地の無償貸借並びに市有竹林からの竹材の供給</li> </ul> <p>【まち協の役割】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・岸和田GreenVillage構想の推進</li> </ul>
R7年度の事業費（内訳）	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・市有地の維持管理に要する費用 15,000千円</li> <li>・パンダバンブー地域循環共生圏プロジェクト補助金 0円</li> </ul>	

R8年度以降の想定事業費（ランニング経費）	取組の進捗・成果を測る指標	成果・指標が未達成の場合の取扱い
<ul style="list-style-type: none"> <li>・市有地の維持管理費 15,000千円</li> <li>・パンダバンブーについては特になし（民間主導による事業推進）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アドプトフォレスト等活動団体数（2022→2025）8団体→8団体</li> <li>・プロジェクト関係者数（2022→2025）14団体→増加</li> </ul>	<p>※必ず縮小・廃止時期を記載すること未定</p>

ロジックモデル【事業立案時点】



財源	他団体の状況	その他（行政サービスとしての適正性について など）
<ul style="list-style-type: none"> <li>ローカル10000PJの活用</li> </ul>		

■ 中期的にめざす成果に対する達成度



・ 竹を中心に広域的な連携をする等、竹を活かしたまちづくりを推進し、環境にも優しく、ゆめみヶ丘岸和田の魅力が向上している状態をめざす。

■ R7年度において実施・実現できたこと

- ・ 各団体におけるアドプトフォレスト活動に伴う竹林の維持管理
- ・ まちづくり協議会による「竹まつり」の実施

■ R7年度における達成度 (当初の実施予定に対する達成度)



・ 竹の資源循環や市有竹林の適正な維持管理を行い、パンダバンブー地域循環共生圏プロジェクトを推進する。

■ 主な「取組の進捗・成果を測る指標」の状況

測定有無	指標名	単位	基準値 (年次)	目標値 (年次)	R7年度実績値
○	アドプトフォレスト等活動団体数	団体	8 (2022)	8 (2025)	8
○	プロジェクト関係者数	団体	14 (2022)	15 (2025)	15
—	竹の処理量	t			

### ■ R7年度において実施・実現できなかったこと

- ・ ファクトリーの補助金獲得に至らなかった。
- ・ 事業者の操業に至らなかったため、竹を切り出す人手の確保までに至らなかった。

### ■ 課題分析

- ・ 民間事業者の経営状況の変化
- ・ 事業実施におけるステークホルダー不足

### ■ ロジックモデルの振り返り

- ・ 事業者の入れ替わり等もあり、プロジェクト関係者との再度連携を実施する必要があり、初期アウトカム出現に向けて詳細な検討や調整が必要。

### ■ 次年度以降の予定・改善内容

- ・ 事業者の再選定とステークホルダーの整理
- ・ 具体的な事業計画の検討や見直しを実施する。